

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 奈良市立鳥見小学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例：小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒 631-0065

奈良市鳥見町三丁目11-2

E-mail torimi-e@naracity.ed.jp

Website http://www.naracity.ed.jp/torimi-e/

幼児児童生徒数 男子 187名 女子 214名 合計 401名

幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、6年生の修学旅行(広島方面)を通して平和学習を重点的に行った。

○重点目標

・修学旅行を通して世界平和について考え、様々な人々との交流や調べたことを通して、平和に対する自分の考えを持つ。

・日本や世界が歩んできた争いの歴史や悲惨さを知ること、今ある平和を大切にしようとする心を育てる。

・平和な世界を維持するための取り組みを知り、まずは身近なところから自分たちにはどのようなことができるかを考え、実行する力を育てる。

以上の3点を目標とし、学習に取り組んだ。

①平和に係わる活動

○学習活動の概要

〈事前学習〉(1学期)

・修学旅行をきっかけに、平和学習について自分の取り組みたいテーマを見つけ、

調べ方を考えながら計画的に行う。

- ・戦争当時の様子について、家族へのインタビューや資料・インターネットなどを通して情報を集める。

〈現地学習〉（2学期前半）

- ・広島でのフィールドワークで語り部の方から聞き取ったことや原爆資料館で学んだことをまとめて整理する。

〈事後学習〉（2学期後半）

- ・自分で調べて分かったこと、事前学習や修学旅行で学んだことからポイントをしぼって、報告する内容を考える。

- ・事前学習や修学旅行を通して学んだことを平和報告会として友だちや保護者に伝える。

- ・友だちの発表を見たり聞いたりして興味関心を持ち、自分の活動を振り返り、その反省を次の活動に活かす。

○成果及び今後の課題

- ・子どもたち自身、平和に対して前向きに取り組む態度を示し、日本と世界の国々にも目を向け、調べるテーマについてよく考え、学ぶことができた。

- ・現地で戦争が起きていた時代に生きる語り部の方から直接教えていただいた戦争当時の時代背景、当時の広島の様子等、教えていただいたお話は子どもたちの心に深く届いた。

- ・現在の日本が平和であることのありがたさ、また、今後の日本を担っていく自分たちが平和学習を通して学んだことを後世に伝えていく役割を果たしていく必要性についても考えることができた。

①



(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

| | | | |
|--------------------------------------|--|--|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 環境 | <input type="checkbox"/> 2. エネルギー | <input type="checkbox"/> 3. 防災 | <input type="checkbox"/> 4. 生物多様性 |
| <input type="checkbox"/> 5. 気候変動 | <input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性 | <input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産 | <input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和 |
| <input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉 | <input type="checkbox"/> 10. 食育 | <input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費 | <input type="checkbox"/> 12. 貧困 |
| <input type="checkbox"/> 13. エコパーク | <input type="checkbox"/> 14. ジオパーク | <input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED) | |
| <input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等 | <input type="checkbox"/> 17. その他() | | |

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

| | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力 | <input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力 | <input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度 | <input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度 |
| <input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度 | |
| <input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入) | |

ウ. 活動時間 (複数選択可)

| | |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間 | <input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間 |
| <input type="checkbox"/> 3. 特別活動等 | <input type="checkbox"/> 4. クラブ活動 |
| <input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述) | |

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

へいわってすてきだね・ぼくがラーメン食べてるとき・はだしのゲン
ぞうのはなこさん など

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

今年度初めて担当し、学校全体の体制や環境づくりに努めることができなかった。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

評価を受けていない。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

交流できていない。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

交流できていない。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

- (3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

来年度、どのように活動していくか、検討している。